



ウサギはどこであせをかくの

かんせん はったつ わる
汗腺の発達が悪く、あせをかかない

かんせん はったつ わる
ウサギは汗腺の発達が悪く、あせをかきません。

みみ ねつ
耳で熱をさます

にんげん うんどう で ねつ やくめ
人間のあせは、はげしい運動をしたあとに出る熱を、さます役目をしています。あせをか
かないウサギは、運動したあとに出る熱を、どこでさましているのでしょうか。

みみ てき だ おと き
ウサギの大きな耳は、敵の出すもの音を、すばやく聞きつけるためだけではありません。
みみ けっかん とお けつえき みみ ひ ねつ
耳にはたくさんの血管が通っています。あつくなった血液は、耳で冷やされています。熱が
にげやすいように、みみ ひろ け は
耳は広がってうすくなり、毛もまばらにしか生えていません。

ねつ かた
イヌもあせをかきませんが、運動のあと、舌をだして、はあはあとやっているのが、イヌ
の熱のさまし方です。

にんげん
人間のあせ

かんせん で け とく て かんせん おお
あせは汗腺から出て、ひふにしめり気をあたえています。特に手のひらには汗腺が多くあ
ります。おそろしいとき、あぶないと思うなど、おも こころ きんちよう て
心が緊張したときは、手があせでびっしょ
りになります。これは、なに もの たか じゅんび ひと
何か物をにぎって、戦う準備のためだという人もいます。あせで、
しめっていれば、もの がすべりにくくなります。ぬれすぎると逆にすべってしまいますから、
こんなときは、きんちよう
緊張のしすぎでしょうか。

からだ ふようぶつ そと やくめ
また、あせには、体でいらなくなった不要物を、外にすてる役目もあります。

(監修・今泉 忠明)

